

生活習慣病への対策が鍵

検診の受診率向上をめざす



みやじま ようこ 議員

特定検診の昨年の受診率は約41%で少しずつ上がってきている。受診率向上のために、特定検診とガン検診をセット化し複数の受診が出来るように、また送迎バスを運行して受診しやすいような対策を取っている。

問 国保税は昨年値上げをしたにもかかわらず赤字会計だが、その理由は。

答 藤本住民課長

昨年の医療費が1億円も増えたことが主な原因と言える。医療費の主なもの生活習慣病で、これらの病気予防は国保会計にも大いに影響している。

問 喫煙が健康に及ぼす害は広く知られているが、受動喫煙の害も大きい。子どもたち

への影響は特に注意が必要だが、保育所、小・中学校の敷地内での全面禁煙を行うべきではないか。

答 坂本教育長

建物内での喫煙は全面禁煙だが、敷地内では分煙を徹底している。全面禁煙となると敷地外での喫煙となり、周辺への配慮もあり、敷地内での全面禁煙は取っていない。

観光事業

人工芝の敷設
勧めるか

倍の効果予想
力を入れたい

問 地方再生が叫ばれて長いですが、観光事業への取り組みもその対策の一つとして観光を浴びている。現状はどうか。

答 門田産業推進室長

町への観光入り込み客数は、平成21年以降毎年増加しており、それに伴い経済効果も増加していると推測される。今後はイベントを増やす



「元気いきいき町民の集い」(保健指導)の一コマ

ことよりも、内容などに工夫をこらしていきたい。

答 大西町長

問 土佐西南大規模公園を利用したスポーツツーリズムが好調だ。更なる誘客をめざして、サッカー場に人工芝を敷設する案が浮上しているが、どの程度進んでいるのか。敷設には多大な予算も伴うが、その効果をどう見ているか。町の負担額はどのくらいか。

人工芝敷設へ県も理解を示してくれ、予算化に向けて動く方向にある。経済効果はサッカー場を利用した合宿誘致も進み、宿泊客の大幅増が予想され、経済効果は倍ぐらいを予想している。

県の施設なので、人工芝敷設工事は県が行うが、町も工事費の7%を負担する。

答 宮川健康福祉課長

問 日本人の平均寿命は世界でもトップクラスだが、せっかくの長寿をはたらつと生きるためには病気を予防し、健康を守り、「健康寿命」を延ばすことが大切だ。健康寿命の一番の大敵は生活習慣病で、生活習慣の改善が言われている。病気予防、介護予防として特定検診をはじめガン検診などを受ける事は効果があるが、昨年の受診率と受診率向上のための対策は。